平成１４年度 開発教育実践講座
実践事例集

JICA LIBRARY
1209168 [2]

平成１５年３月

国 際 協 力 事 業 団

中 部 国 際 セ ン タ ー

中部セ
JR
02－05

1209168 [2]

序文

この報告書は、平成 14 年度に当センター（CBIC）が現場の先生方を対象に実施した 4 件の開発教育実践講座において、各講師が説明した「実践事例」をまとめたものです。

本講座は、開発教育を実践する際に役立つ情報・ノウハウ等を現場の先生方にお伝えすることを目的に、当センター独自の開発教育支援事業の一つとして実施してきました。

平成 14 年度から小中学校に「総合学習」が導入され、平成１５年度の新学期からは高等学校の教育現場においても、同学習が始まる中で、開発教育への関心は今後ますます高まることが予想されます。当センターとしましては、先生方のニーズをしっかりと把握したうえで内容の改善を図りながら、平成１５年度も同様の講座をリニューアルした形で引き続き実施していきたいと考えております。この事例集が各地で開発教育を実践されている方々のご参考になれば幸いです。

本講座の実施に際し、お忙しい中講師をお引き受け頂いた先生方をはじめ、関係者の皆様にお礼を申し上げると共に、今後とも当事業団の開発教育支援事業に一層のご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

２００３年３月

国際協力事業団
中部国際センター
所長　荻原久義

目次

序文

1，各講座の概要

（1）開発教育実践講座～先進事例の紹介～（津市）　・・・・　1

（2）開発教育実践講座（静岡市）　・・・・・・・・・・・・・　2

（3）開発教育指導者研修（名古屋市）　・・・・・・・・・・・　3

（4）How To 国際理解教育 in 授業（岐阜市）　・・・・・・・・　5

2，総括

（1）本講座を企画した背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

（2）今年度の成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

（3）平成１５年度の計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

3，実践事例報告資料集

・津市------- 開発教育実践講座～先進事例の紹介～

（1）自己発見につながるボランティア活動の取組み

三重県立いなべ総合学園高校教諭　近藤多寿子・・・・　10

（2）開発教育の実践例の紹介

四日市市立中部中学校教諭　成田達也・・・・・・・・・　13

・静岡市------ 開発教育実践講座

（1）開発教育の実践授業例の紹介

静岡市立城北小学校教諭　谷口康代・・・・・・・・・・　36

・名古屋市--- 開発指導者研修

（1）開発教育概論

（特）名古屋 NGO センター理事・

名古屋大学大学院国際開発研究科助手　野田真里・・・　64

（2）総合学習における開発教育の取組み事例報告

名古屋市立若葉中学校教諭　濱田泰輔・・・・・・・・・　74

名古屋市立大高中学校教諭　豊福数壽・・・・・・・・・　86

（３）体験！国際理解ワークショップ／
教育現場で国際理解教育を活かすために
NIED・国際理解教育センター　山中令子・・・・・・・・ 90
・岐阜市----- How To 国際理解 in 授業
（１）異文化を理解することを通して共に生きていく力を
育てる国際理解教育
美濃加茂市立古井小学校教諭　加藤菜穂子・・・・・・ 109
（２）国際理解ワークショップ
各務原市立各務小学校教諭　山田達哉・・・・・・・・ 125

４，お問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 128

１．　各講座の概要

（１）「開発教育実践講座～先進事例の紹介～」（津市）

主　催：国際協力事業団（JICA）中部国際センター
後　援：三重県教育委員会　（財）三重県国際交流財団
日　時：平成14年6月1日（土）13：30～17：00
会　場：三重県津駅前　「アスト津」3階ミーティングルーム
参加者：小・中・高校教員及び教育委員会関係者8名

プログラム

13：00～	受付
13：30～13：40	主催者挨拶
13：40～14：35	「自己発見につながるボランティア活動の取組み」 講師：三重県立いなべ総合学園高校 近藤多寿子教諭
14：35～14：50	休憩
14：50～15：45	「開発教育の実践例の紹介」 講師：四日市市立中部中学校 成田達也教諭
15：45～16：40	意見交換会
16：40～16：55	アンケート記入
16：55	閉会

参加者アンケート回答（抜粋）

・多様な実践を知ることが出来た。
・実践する上での苦労や悩みがわかったこと。
・新しい手法を知ることができ、多くの資料を手に入れることができた。
・もう少し活発な交流と、自分の実際での実践に難しさを感じた。
・即活用できる点が良かった。

（２）「開発教育実践講座」（静岡市）

主　催：国際協力事業団（JICA）中部国際センター

後　援：静岡県教育委員会　（財）静岡県国際交流協会

日　時：平成 14 年 10 月 12 日（土）13：30～18：00

会　場：静岡県女性総合センターあざれあ　第１会議室

参加者：小、中、高校教員及び教育委員会関係者 15 名

プログラム

13：15～	受付
13：30～13：35	主催者挨拶
13：35～14：05	JICA 開発教育支援プログラム紹介
14：05～16：05	「開発教育の実践授業例の紹介」 ワークショップ１「未来は自分の手で創るもの」 ワークショップ２「ガーナ=チョコレート？」 講師：静岡市立城北小学校 谷口康代教諭
16：05～16：20	休憩
16：20～16：50	「教師海外研修プログラム」体験談紹介 講師：静岡市城北小学校 谷口康代教諭
16：50～17：50	質疑応答及び意見交換会
17：50～18：00	アンケート記入・解散
18：00	閉会

参加者アンケート回答（抜粋）

・開発教育の教材が現場でどのように使用されているかわかった。

・開発教育の基本知識がなかったので、段階を追って参加できたのが良かった。

・子どもたちの考えが理解できた。

・インスピレーション、ヒントを得ることが出来た。

・意見交換にアドバイスできる人が欲しい。

・満足のいく内容だったので、長時間でも良かった

（3）「開発教育指導者研修」（名古屋市）

主　催：国際協力事業団（JICA）中部国際センター

後　援：愛知県教育委員会　岐阜県教育委員会　三重県教育委員会
静岡県教育委員会　名古屋市教育委員会

日　時：平成14年11月2日（土）13：00～20：00
平成14年11月3日（日）9：00～16：00

会　場：国際協力事業団（JICA）中部国際センター

参加者：小、中、高校教員、教育委員会関係者、NGO関係者等43名

プログラム

＜11月2日（土）＞

12：30～	受付
13：00～13：05	主催者挨拶
13：05～13：10	諸説明
13：10～13：40	自己紹介
13：40～15：10	開発教育概論 講師：野田真里氏((特)名古屋NGOセンター理事、名古屋大学大学院国際開発研究科助手)
15：15～17：20	サーモン・キャンペーン実演 講師：なごやJICA会　内藤勝氏 JICA国際協力推進員　古田敦子
17：35～18：15	JICA事業説明及び開発教育支援説明
18：30～20：00	懇親会

＜11月3日（日）＞

9：00～10：10	総合学習における開発教育の取組み事例報告 講師：名古屋市立大高中学校　豊福数壽教諭 名古屋市立南陽中学校　加藤隆夫教諭 名古屋市立若葉中学校　濱田泰輔教諭
10：30～12：30	体験！国際理解ワークショップ 講師：山中令子氏 （NIED・国際理解教育センター 事務局長）

12：30～13：30	昼休み
13：30～15：30	教育現場で国際理解教育を活かすために （グループワーク） 講師：山中令子氏
15：30～16：00	アンケート記入、まとめ

参加者アンケート回答（抜粋）

・開発教育の概要が理解できた。知りたいことを楽しく教えてもらった。自分のためになった。
・参加型というのがおぼろげながら、わかった感じがした。
・今後の開発教育の在り方、方向性を見つけるチャンスができたし、身近なところで事例を見つけだし活かしていきたい。
・とても多くの実践とすぐに役立つワークショップとバラエティに富んだ内容はスケジュールの割に楽しく過ごせた。
・参加型のワークショップで楽しく開発教育を進めてみようという気持ちが高まった。
・楽しくワークショップに参加でき、日常の授業にも生かしていきたいと思った。こうした手法を取り入れれば、生徒たちも意欲的に取り組んでくれることだろう。
・開発教育を進めていく上での「ものさし」になった。何が欠けていて何をしたらよいかの指針になった。
・これまでいかに詰め込みをやってきたのか、明日からは「教壇に立たない」方法を考えていこうと思った。
・実践を支えるための理論的な面をシンプルに説明してもらえた。

（4）「How To 国際理解教育 in 授業」（岐阜市）
（国際協力講座・開発教育実践講座同時開催）

主　催：（財）岐阜県国際交流センター、
　　国際協力事業団（JICA）中部国際センター
後　援：岐阜県教育委員会
日　時：平成15年2月1日（土）13：30～16：30
会　場：岐阜県県民ふれあい会館　第1棟4階　４０５小会議室
参加者：小、中、高校教員及び教育委員会関係者20名

プログラム

13：15～	受付
13：30～14：30	実践事例報告 「異文化を理解することを通して共に生きていく力を育てる国際理解教育」 講師：美濃加茂市立古井小学校　加藤菜穂子教諭 JICA国際協力推進員　古田敦子
	＊美濃加茂市－平成１３・１４年度文部科学省の帰国・外国人児童生徒と共に進める教育の国際化推進地域
	＊美濃加茂市立古井小学校－上記のセンター校
14：30～14：40	休憩
14：40～16：00	「国際理解ワークショップ」 ファシリテーター： 各務原市立各務小学校　山田達哉教諭
16：00～16：30	意見交換会・アンケート記入
16：30	閉会

参加者アンケート回答（抜粋）

・実践事例報告・ワークショップは、これからの授業に取り入れられそうだと思った。
・話を聞くだけでなく、自らが生徒になって理解（考え）、その後意見交流（交換）ができた。
・ワークショップでお互い少し会話をした上で、実践報告→質問など→意見交換（全体）の方が場が和むのではないか。

2．　総括

（1）本講座を企画した背景

ここ数年、政府開発援助（ODA）に対する国民の関心が高まる中、開発途上国の現状と課題について認識を深めてもらい、国際協力への理解、参加を促進するため、JICA は開発教育推進への支援を進めています。

一方 2002 年より総合学習が本格的に教育現場に導入され、開発教育（国際理解教育）への関心が教育現場では高まりつつありますが、先生方からは「どのように取り組んだらいいのか分からない」等の相談、質問もいただいています。

このような状況の下、先生方に開発教育の重要性を理解していただくとともに現場で実践してもらいたい。また、その実践を通じて、次代を担う小・中・高校生達に途上国の現状、国際協力の必要性、日本もしくは自分の関わり方について考えてほしいという考えでこの講座を企画しました。

（2）今年度の成果

今年度は昨年同様に津市、静岡市、名古屋市、岐阜市において計４回実施しました。基本的には実際の授業の実施に役立てていただくという観点から、できるだけ実践的な内容とするため、その地域で先進的に取り組まれている先生、NGO 関係者等を講師に招き、開発教育の概論・理論、実践事例、手法を具体的に紹介していただく形式をとりました。

また参加された先生方の交流・情報交換を図る目的から、実践事例の説明の後に意見交換の時間を設定しました。開発教育に関して普段から感じていた疑問や悩み等を解消、共有し、かつ様々な情報を交換する機会を先生方に提供する事ができたことも有意義であった。

（３）平成１５年度の計画

本講座の参加者には従来から開発教育の実践を継続的に授業で取り組んでいる先生がいる一方で、初めて取り組む方が参加していました。

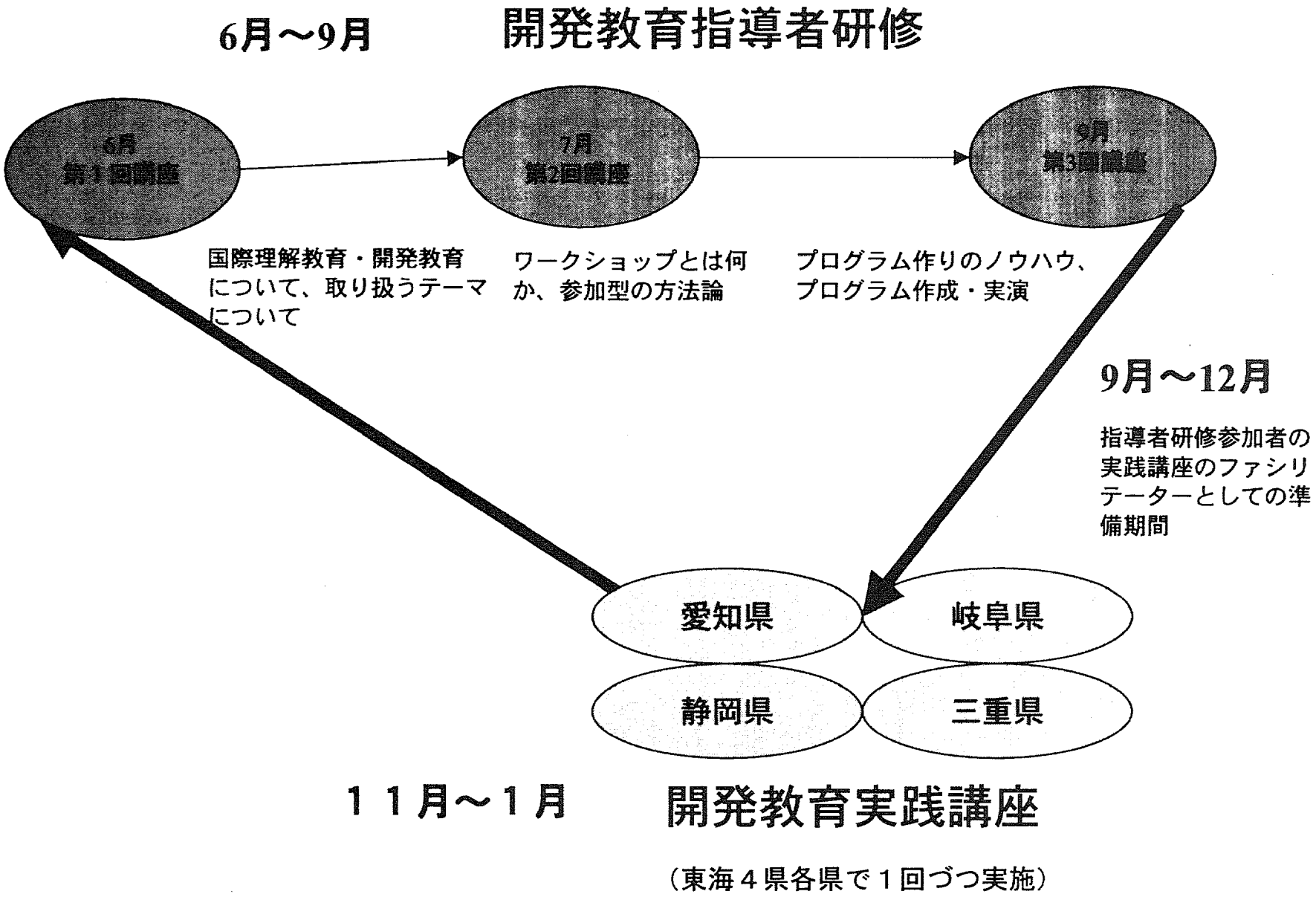
このため、平成１５年度は講座の目的、プログラムを以下のとおり、設定し、実施する予定です。

①中級編としての「開発教育指導者研修」は、東海４県の教育関係者で、国際理解教育・開発教育の実践経験、JICA 等の講座・研修、ワークショップを複数回受講したことがある方を対象に１泊２日で名古屋の JICA 中部国際センターに於いて３回実施予定となっております（定員３０名)。

②入門編としての「開発教育実践講座」は、東海４県の教育関係者で、これから学校で国際理解・開発教育に取り組もうとしている人を対象として東海４県で各１回実施予定となっております(定員３０名)。

少しでも充実した開発教育プログラムを実施したいと考えていますので、JICA に対してご意見、ご要望等ございましたらぜひお寄せ願います。

平成１５年度JICA中部国際センター開発教育実践講座・指導者研修計画案



３．実践事例報告

津市
開発教育実践講座
～先進事例の紹介～

自己発見につながる
ボランティア活動の取り組み

ー「自発的な意思に基づいて活動しよう」を合言葉にしてー

三重県立いなべ総合学園高等学校
教諭　近藤　多寿子
E-mail:tazuko@edp.yecc.gr.jp

三重県立いなべ総合学園高等学校

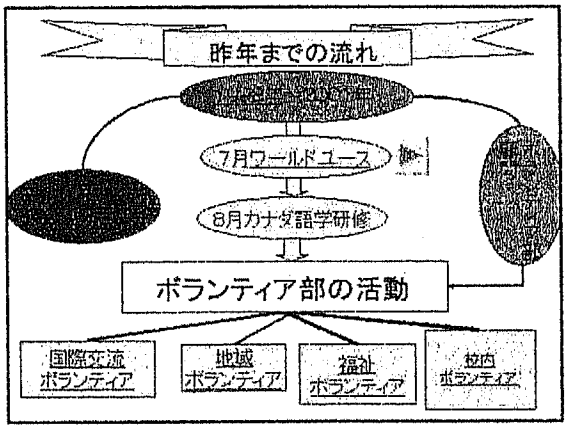
HP: http://www.inabe-h.ed.jp/

三重県の最北端の県立高校・総合学科2年目・県下最大規模

8系列・PC室6部屋・各教室1台PC設置・図書館にもPC・チューター制・多彩な研修旅行

ようこそ、みなさん

- 三重県立伊勢実業高校
- 愛知県立安城南高校
- 三重県立四日市北高校
- 愛知高校
- 津市立南が丘中学校



英語教育における教育の変換

知識伝達	創造力・自己成長力
情報の受信専門	情報の発信・自己表現
筆記試験による点数化	過程の重視・多様性
閉ざされた世界	開かれた世界
一斉指導型	学習支援型

チャンスが向こうからやってきた！

私の授業の基本方針

- 英語もPCも、自己表現やコミュニケーションのための「道具」であると認識する。授業は英語で！
- 交流を通して英語学習のモーティベーションを高める。
- 課題を考え、調査し、まとめ、英語で効果的に発表できるように、教員は必要に応じて支援する。
- 英語を使わねばならない場面を可能なかぎり提供する。

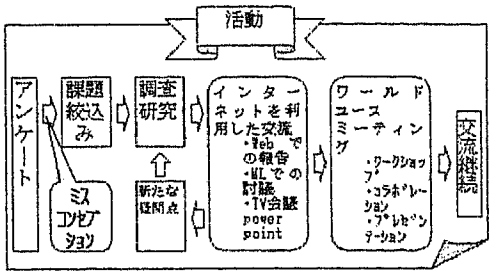
World Youth Meeting の取り組み

なぜ？

日本の高校生

- 自己中心
- 自主性
- セルフエスティーム
- やる気
- 「豊かさ」にさえ気づかない日常

World Youth Meeting の取り組み



活動の特徴

- 自発的
- 地元、生徒中心の活動
- 教員は、援助者
- 継続的
- 自己発見、自分のアイデンティティの追及

ボランティア活動実施内容

(1)老人ホーム、病院、養護学校、デイケアセンター訪問。＋ 手話講座

主に、土曜日曜を利用して、各自が都合の良い日にボランティアにでかけました。病院ボランティアでは、主として病室の掃除やベットのシーツ交換の仕事を担当しましたが、患者さんが「ありがとう。ありがとう」と喜ぶ姿を見て、介護福祉士を目指す生徒は決意を新たにしたようです。特別養護老人ホームやデイケアセンターでは、入浴介助や食事介助、散歩の相手や話し相手をさせていただきました。回数を重ねるにつれて、利用者の方も、心を開いてくれ、笑顔で迎えてくれるようになりました。「継続は力なり」という言葉を実感しました。
また、聾者の方を迎えて、定期的に手話講座を開くことで、地域のボランティアサークルの方とも親しくなり生徒は、放課後クラブ活動とは別に、地元で夜のサークル活動も始めました。手話をひとつの言語として捉え、手話を学ぶことで世界が広がったという感想を生徒がよせていました。

ボランティア活動実施内容

- (2)地域のイベントボランティア、ボランティアスクール参加

毎年行われる地域のイベントにお邪魔しましています。担当は、主として清掃活動で、ごみの分別回収を訴えたり、会場内のごみを集めて回ったり、アルミ缶とスチール缶に分けて回収するお手伝いをしたりします。また、作業所の皆さんのバザーのお手伝いもし、リサイクル小物を売った収益を寄付しています。ごみの収集を担当すると普段何気なく見過ごしている小さなごみも大変気になるようです。「だれも、ごみを捨てなければ、ごみはでない」という自覚が生まれました。平成10年度は福祉協力校初年度でもあり、各町でひらかれたボランティアサークルに参加したり、児童センターでの人形劇等の催しのボランティアをしました。

ボランティア活動実施内容

- (4)リサイクル小物作成、空き缶リサイクル、清掃活動等 校内ボランティア

放課後は、作業所や福祉施設は、仕事が終わっていることが多く、平日は校内での活動が主となります。牛乳パックややビーズを用いてバザー用品を作り、バザーで販売したり、校内の清掃をしたりしています。文化祭では、活動報告や、校内バリアフリー検証を行いました。

また、アフガニスタンへの募金活動は継続しています。

アフガニスタン募金

- 最初は、校内や校外の清掃活動
- 9．11事件発生
- 生徒の意識の変化
- ペシャワール会との出会い
- 街頭募金活動
- 現在も活動継続

アフガン募金の経緯

- いなべ総合学園のボランティア部は、主に4つの分野において活動をしています。そのひとつである国際交流分野に関連して、アメリカのテロ事件とアフガニスタンの空爆にたいして、「無関心でいたくない」「何かできることをしたい」という声が、部員からあがりました。NHKの番組でペシャワール会が取り上げられていたことから、家庭でもインターネットで調べた部員もおり、E-mailを通して、会の代表者に連絡をとりました。10月27日の80周年記念行事の時には、ペシャワール会よりパネルや資料を送っていただき、第1回の募金活動が始まりました。ただ募金活動をするのではなく、アフガニスタンや中東についてインターネットを使って調べ、地歴公民の先生にもお願いして、アフガニスタンと中東諸国の歴史および、アメリカやソ連との関係について学びました。
- テロを根本から解決するためには、何ができるのか？と考えつつ、21世紀を「無関心と暴力」の世紀にしないためにも、私たち富める国の人間が、少しでも、援助ができればよいなと考えるようになりました。学生なので、大金は集まりませんが、「無関心な人間をひとりでも、減らす」ことは、できると考え、募金活動をしています。11月の文化祭でも募金をよびかけました。
- 「貧困がテロを生み、暴力が暴力を呼び、憎しみが増幅された世界」になることを恐れて、すこしでも、現地に近い組織に援助をしたいと思います。 貧困で苦しんでいる国は、アフガンだけではないことを、十分心にとめて現在は、活動をしています。

3年間の取り組みの成果

- 参加型の取り組みによる生徒の変化
  - 自主性・自己理解・セルフエスティーム
  - 社会への関心
- 地域や学校の変化
  - ゆっくりだが、確実に変化している
  - 地道な活動が、変化をうむという実感

問題点と課題

- 生徒や保護者の要望に、クラブ単位ではもう耐えられない。
- 総合的な学習や、産業社会と人間で実施するうえでの悩み
  - 生徒個人の興味、成長に合わせられない
  - ボランティアは、「させられる」と感じたら、意味はなくなる。
- どういう形が良いのか、今年度模索中である。

開発教育の実践例の紹介

「レストランで注文しよう」

① 導入として

② 「世界を自分たちの学年（クラス）におきかえたら」

③ 「世界はつながっている」

④ 異文化体験シミュレーション「バファバファ」

⑤ 学年全員で取り組む「ワールドカルタ」

四日市市立中部中学校

成田　達也

開発教育の実践例の紹介

四日市市立中部中学校　成田　達也

① 導入として

○　ビデオ

ユニセフ「３４１」　ユニセフ「世界子ども白書」　JICA「開発途上国ってどんな国？」

自作ビデオ「ザンビア紀行」(四日市市教育センター所蔵)

○　新聞記事

「タイから来たお米より」　(資料１　参照)

「ギニアの２少年　命をかけた手紙」　(資料２　参照)

②「世界を自分たちの学年（クラス）におきかえたら」

世界の人口は６３億人だが、あまりにも数が大きすぎてわかりにくいので、それを学年（クラス）の数でおきかえて、生徒にわかりやすく提示した。

「世界がもし１００人の村だったら」(マガジンハウス）より

・５７人のアジア人　２１人のヨーロッパ人　１４人の南北アメリカ人　８人のアフリカ人

・７０人が有色人種で、３０人が白人

・８９人が異性愛者で、１１人が同性愛者

・６人が全世界の富の５９％を所有し、その６人ともアメリカ国籍

・８０人は標準以下の居住環境に住み、７０人は文字が読めません、５０人は栄養失調に苦しみ、ひとりが瀕死の状態にあり、ひとりは今生まれようとしている。そのひとり（そう、たったひとり）は大学教育を受け、そして、ひとりだけがコンピュータを所有しています。

数だけを漠然とあげるより、視覚にうったえたほうが子どもにはわかりやすい。そのため、たとえば、複数のクラスなど、できるだけ多くの生徒を体育館などの広い部屋に集め、それぞれの項目に相当する数のだけの生徒をその場に立たせるとよいと思う。

タイから来たお米より

資料１

はじめまして、僕はタイのイサンという所から来たお米くんと言います。今度日本のお米不作のおかげでやっと日本まで来られました。船に乗ってきたとき、「早く日本に着きたいなあ」と思いました。だけど日本の港に到着したとき体が痛いほど寒かったです。でも僕のことを待ってくれる人がいると思うとがんばろうと思いました。

しかし、日本の中に入ってみると、テレビや新聞が僕の悪口ばかり言っていました。たとえば、まずいとか、体が長くてカッコワルイとか、くさいとか、日本のおかずに合わないとか、そのせいか、いつもおなかがパンパンでグルメと呼ばれる人たちにとって、僕はおかしな米だそうです。

せっかく遠くタイから呼ばれて、がんばって厳しい寒さと戦っているのに、僕は日本人にとって“全然役立たない物”と言われて、とてもくやしい気持ちになりました。だから日本と違って、生きるために僕を食べてくれて、大切にしてくれる、日本人みたいに食べ物をすぐ捨ててしまうことのない、暖かいアフリカみたいな所に行ったほうがよかったかなあ、と思います。だけど、お米屋さんでいつか僕のことをわかってくれる日本人に会えるといいなあ。

朝日新聞　「声」より　　（１９９４年３月）

資料２

ギニアの２少年　命をかけた手紙

ブリュッセル空港に２日到着した飛行機から西アフリカ・ギニアの２人の少年が凍死体でみつかった。その後、２人が決死の覚悟で救済を訴える手紙を運んできたことがわかり、ヨーロッパに衝撃を与えている。

２人は２日早朝、ギニアの首都コナクリから着いたサベナ・ベルギー航空機の着陸装置付近で発見された。飛行中の外気温は氷点下 55 度まで下がることからも凍死とみられ、死後１週間を経過していた。

学生証からコナクリに住む中学生のコイタ・ヤギーネ君（１４）とトゥンカラ・フォデ君（１５）とわかり、服の中から大事に包んであった手紙が見つかった。

「ヨーロッパの指導者の皆さん。僕たちは貧しさと戦闘に苦しんでいます。十分な食料も教育も受けられないままです。僕らもヨーロッパのみんなと同じように勉強がしたい。どうか、アフリカを救ってください。そのために僕たちは命をかけます。」

７月２９日に書かれた手紙には、手書きのフランス語でこうつづられていた。

ギニアは１人あたりの国民総生産（ＧＮＰ）が５７０ドル（約６万８０００円）というアフリカの中でも最貧国の１つ。駐コナクリ日本大使館によると就学率は小学生で５割強，中学生は２割弱。旧宗主国のフランスをはじめアメリカ、日本などから経済援助をあおいでいるが、十分とは言えない状態だ。

死を覚悟したこの手紙は、ベルギー政府に大きな衝撃を与え、さっそくアフリカ諸国への開発援助を増やす方針を表明した。５日には、フランスや英国の大手新聞も相次いで報道した。

１９９９．８．７　　毎日新聞

③「世界はつながっている」

・開発途上国の出来事がけっして遠いところで起こっている、自分たちには関係のない話とは思わせないようにしたい。
・世界の国々が、様々な場面で、いろいろ関わり合い、結びつき、絡まりあって存在していりことを体験させる。

学習活動	指導上の留意点
①９グループにわかれ、国別カードを受け取る。	・ 別紙の国別カードを各グループに１つの国ずつ配る。（資料３　参照）
②自分たちの国に名前をつけ、どんな国なのかをよく理解し、摸造紙に箇条書きにその国の特徴をまとめる。	・ 他のグループの人にわかりやすいように、箇条書きでまとめさせる。（摸造紙は全紙の半分の大きさに切っておく。 ・ 各グループの摸造紙を黒板に掲示させる。（マグネットでとめる。）
③１グループごとに自分の国について説明する。	
④グループごとに自分たちの国と関係のある国をリストアップする。	
⑤関係のある国同士を線で結ぶ。 ⑥線で結ばれた様子をみて、感想を述べる。	・ 教師がそれぞれのグループの意見を順番にきき、それぞれの国を教師が線で結んでいく。 ・ すべてのグループの意見が出たところで、それぞれの国がどのようにつながっているのかをみて、感想を生徒から聞き出す。 ・ 時間があれば、なぜ、立ち上がったのかを発表させる。

学習活動	指導上の留意点
⑦「国にまつわる話」を聞き、その話によって影響を受けると思われる国は立ち上がる。 （立ち上がった国と線で結ばれている国も立ち上がる。）	＜国にまつわる話＞ ①工業国が不況となり、たくさんの会社が倒産し、失業者が急増しました。 ②世界の石油の埋蔵量が５年後に底をつくことがわかりなした。 ③異常気象が世界各国で発生し、農作物が大打撃を受け、各地の収穫量は昨年の１０分の１ほどになってしまいました。 ④工業国で外国人排斥運動が起こり、多くの外国労働人が攻撃をうけています。 ⑤観光地の近くに工業国が持ちこんだ危険な産業廃棄物がもれだし、貴重なさんご礁が全滅しました。
⑧まとめ 世界が複雑に絡み合っていることを知る。	・　このシミュレーションのように、世界には似たような状況がないかを考えさせる。 ・　自分が知らないうちに、世界中の国がつながり、絡み合っていることに気づかせ、日本だけでなく、地球規模で物事を考えさせる必要があることを知らせる。 ・　日本で日常に使われている物の多くが、外国からの輸入に頼っていることを例にあげてもよい。

資料３

国名（　　）

わたしたちの国はコーヒーや砂糖きびを作って輸出しています。以前は畑だったところもコーヒー園に変わってしまい、必要な食糧は輸入されるようになりました。土地を失った人々は仕事を求めて外国に働きに出かけるようになり、家族はその仕送りで生活しています。

国名（　　）

わたしの国は美しく、たくさんの人々が観光や保養に訪れています。観光客の多くは工業国の人々です。観光業の他には産業がないので、ほとんどの国民は観光に関係した仕事をしています。

近年、国は高い引き受け料をもらって、工業国から産業廃棄物を受け入れるようになりました。

国名（　　）

わたしの国では数年前から戦争をしています。食糧も不足するような毎日ですが、政府は海外の工業国から多くの兵器を輸入しています。多くの国民は戦争から逃れ、難民キャンプなどで外国の食糧援助などに頼って暮らしています。

国名（　　）

わたしの国は広く、人口のとても多い国です。以前は農業が盛んでしたが、国の工業化政策のため、多くの農地がつぶされて工業用地になりました。

豊かな人が増え、新しい自動車や電気製品も多く輸入されるようになりましたが、貧しい人も増えています。人口は増え続けており、食糧の自給ができなくなったので輸入するようになりました。

国名（　　）

わたしの国は砂漠地帯にあり、農産物はあまり育ちません。石油などの地下資源に恵まれているので、それらを多く輸出して、食糧や電気製品、自動車を輸入しています。

国名（　　）

わたしの国の国土は狭く、地下資源もほとんどありません。高い工業技術力があり、性能のよい自動車や電気製品を作って輸出しています。工場では多くの外国人が働いています。食糧の多くは輸入されています。

国名（　　）

わたしの国は広く、気候もいいので、大規模な農場や牧場があり、食糧を大量生産して輸出しています。工業も盛んですが、工場や農場では安い賃金で多くの外国人が働いています。

国名（　　）

わたしの国ではしばしば干ばつがおこり、食糧不足になります。飢饉（ききん）がひどくなると、国連や外国からの援助に頼らなければなりません。地下資源も乏しく、工業も盛んではないので、仕事を求めて外国へ働きに行く人も多くいます。

国名（　　）

わたしの国は農業や漁業がさかんで多くの食糧を輸出しています。しかし、お金の豊かな国ではないので、お金持ちの豊かな国から援助をしてもらっています。電気製品などは工業国から輸入しています。

④ 異文化体験シミュレーション　「バファバファ　(Bafa Bafa)」

バファバファとは、異なる文化をもつ２つの国家を想定し、それぞれの文化を習得したのち、外国を訪問して異文化理解を疑似体験するというシミュレーション・ゲームです。

バファバファはアメリカの G. Shirts によって開発され、１９７７年に出版されました。以降、アメリカでは、主として異文化間コミュニケーション・トレーニングの場で活用されています。また、日本では青年海外協力隊の派遣前訓練で実施されていますが、学校教育の場でも実践されているところがあります。

以下に紹介するのは、学校で実践しやすいように、今回改良したものです。

＜ねらい＞　異文化を疑似体験する。

＜設　定＞　ドンチー国（中国語で“同志”を意味する。）　(資料４　参照)
アナンダ国（ネパール語で“安楽”、“くつろぎ”を意味する。）　(資料５　参照)

ドンチー国とアナンダ国という２つの国がある。それぞれの国に領土を与え（教室を用意する）、参加者を２つのグループに分け、それぞれの領土に移動させる。

（注意）２つの教室を用意するとき、隣同士の教室は避けたほうがよい。また、相当騒がしくなるので、別の授業をしている教室から遠い教室を用意する。

＜準備物＞

ドンチー国：　赤・青・黄色のカード多数。点数（１～３点）が書かれている。
政府の役人が首にかけるテープ１０本程度。

アナンダ国：　赤・青・黄色のカード多数。点数（１～３点）が書かれている。
女王がかぶる王冠　　女王が平民の首にかけるテープ数本

進　行　係：　トランシーバー（教室が離れている場合、連絡を取り合うため。）

＜進め方＞　(時間　６０分)

① 進行係（教師）は、事前にドンチー国、アナンダ国の文化を熟知しておく。
（ドンチー国とアナンダ国にそれぞれ進行係がいたほうが望ましい。）

② ２つの文化の違った国に参加者を振り分ける。

③ 進行係は、それぞれの国民にその文化を説明する。

④ 国民を役割ごとに分け、必要なものを配る。

⑤ どのような文化であるのかをそれぞれの国民に教え、数分間試行する。進行係は適宜指導する。

⑥ 第１次調査隊（国民の 1/3 名）を選出。選出された人たちは、外国へ持っているものをすべて持ったまま渡航し、その国の文化を調査する。

⑦ ５分後、進行係は外国からの調査隊に帰国するように指示する。

⑧ 自分の国の調査隊が帰ってきたら、次のことについて話し合わせ、報告書を記入する。（資料６）

（ア） 調査隊からの話を聞きましょう。どんな文化の国でしたか。

（イ） 第２次調査隊（第１次調査隊で行った人以外の国民 1/3 名）を選出し、次に、どんな調査が必要かを話し合う。

⑨ 第２次調査隊が出発。今回も５分間の調査を行う。

⑩ ５分後、進行係は外国からの調査隊に帰国するように指示する。

⑪ 自分の国の調査団が帰ってきたら、活動を止め、再び話し合う。

⑫ 最終調査隊を送り出す。今回も５分間の調査を行う。

⑬ 最終調査隊が帰ってきたら、相手国の文化について分かったことをまとめ、最終報告書を作成する。

⑭ 最終報告書を持って、全員が１つの部屋に集まり、お互いの報告書を読みあう。

⑮ 教師は本時のまとめをする。

バファバファを終えて　生徒の感想①

- アナンダ国とドンチー国はほとんど反対だった。すごくコミュニケーションをとるのが難しかった。
- 文化が違っているだけで、本当に別の世界に行ったような感じだった。実際にこういうことがあるだろうけど、何か怖い感じがした。
- 文化が違うとおもしろいけど、すっごく不便
- 楽しかった。でもいきなり知らない国へ行って、あんなことをされたら怖いと思った。
- 相手の文化を知らないとやりにくい。こっちの文化で接しても駄目だということがわかった。
- 文化が異なると、こんなにも接することが難しいんだなと思った。
- 私たちの普通と相手にとっての普通は違うんだと思った。
- ぜんぜん知らない国へ何も知らずに行くと、その国のルールや文化がわからないので苦労すると思った。
- 文化の違いと、人と人との気持ちをつなぐことが難しいと思いました。
- あまりなじむことができなかった。アナンダ国の人がドンチー国の人はクライと言っていた。
- むこうの国にとってごく普通のことが、こっちの国の人にはぜんぜんわからなくてとても不便だった。

バファバファを終えて　生徒の感想②

「犬に名前のない社会を読んで覚えたこと」

中部中学校　3年　H．K　（女子）

私はこの話を読むことによって、異国の社会について興味をもった。

今までの私の中には、私たちの社会は普通だと思っていた。しかし、それは、日本からとびだし、異国の文化・社会を知ろうとしなかった私のただの考えであっただけであり、それは、反対に異国の人にもいえることだろうと思う。

この前、私たちのクラスは、シミュレーションゲーム「バファバファ」を通して、異国どうしで触れ合う実験のようなことをした。異国の社会・文化を知るということは、とても難しく、お互いの文化が違うため、コミュニケーションをはかることさえ難しかった。

私はこの体験を通して、筆者の言いたかった「異質の文化を否定してはならないこと」ということが、少しわかったような気がした。なぜならば、私はこの体験をしたとき、いつのまにか、異国の文化を否定していて、相手の文化を知ろう、わかろうとせず、自分の文化ばかりを押し付けていたため、まったく交流することができなかったからだ。

これからは、国際交流が大事だと思うから、もっと異質の文化に興味を持ち、お互いがわかり合えるようにならなければと思う。

こう思えたのも、この話を読み、実際に体験したからだと思う。だから、何にしても、私は読むだけではなく、体験することが大事だと思った。私はもっといろんな国の文化、社会を知りたい。

資料４

ドンチー国について

＜ドンチー国の役職＞　政府の役人：３人（首にテープをかける）　平民：多数

＜ドンチー国の文化＞

① 今、この国はとても物が不足しています。そこで、すべての物（カード）は国からの配給によってのみ得ることができます。スタート時には、平民は３枚ずつのカードを持っています。（役人は配給用のカードをたくさん持っています。）

② 自分の財産を人に見せる必要はありませんが、役人がチェックする際には隠さず全部見せなければなりません。もし、隠し持っていることがばれると、部屋の隅に連れて行かれ、すべての財産（カード）を取り上げられ、活動停止になります。

③ 人々は笑いを忘れてしまって無口です。もし他の人から話しかけられると、困ってしまったように逃げてしまい、話しかけた人は周囲の人から指をさされてしまいます。

④ 首にテープをかけた人たちは政府の役人です。役人が右手を上げると、配給が始まります。役人のそばに声を出さずに集まって、カードを要求します。役人は平民の中からよく言うことをききそうな５人を選び、選ばれた５人以外の人を解散させてから、５人にカードを１枚ずつ配ります。

⑤ 政府の役人についてまわることは禁止されています。そんな人を見かけたら、役人に小声で教えます。役人は、ついてまわっている人からカードを取り上げ、教えた人に１枚渡します。

⑥ ところが、役人はときどき財産検査を行います。カードを配るときと同じように右手をあげて集まってきた人の中から５人選び、合計３０点以上のカードを持っている人がいれば、その財産を没収します。

⑦ 政府の役人は名誉職です。赤のカードの合計点数が２０点になれば、役人の肩をたたき、自分のカードを見せ、役人の証であるテープと配給用のカードを受け取り、役人として活動します。

アナンダ国について

資料５

＜アナンダ国の役職＞　女王：１人　　平民：多数

＜アナンダ国の文化＞

② 常に笑いを絶やさず、陽気で社交的です。

③ 人と会ったら、お互いに「ララララ」と声をかけ、握手をし、肩をたたき合います。その後、お互いにお世辞を言い合い友好を深めます。

④ この国には身分制度があります。序列は、女王＞女子＞男子

- 身分の低いものは、高いものに自分から話しかけることはできません。もし、そのようなことがあった場合は、まわりの人が笑いながら、その失礼な人を５秒間ほど取り囲みます。
- 特に女王に話しかけることはとても失礼なことであり、そのようなことがあった場合には、まわりの人が笑いながら、その失礼な人を囲み、部屋の隅まで連れて行きます。
- 身分の高いものから声をかけられることは、とても名誉なことです。かけられた場合には、握手・肩たたきが許され、友好を深めることができます。
- 肩たたきが行われ、両者の気が合えば、お互いの友好を深めるためのカードゲームをします。

＜アナンダ国の生活習慣（カードゲームのルール）＞

① ２人で「せーの、キー」または、「せーの、グー」と声をかけます。「キー」は奇数、「グー」は偶数の意味です。このとき、指を何本か出します。

② ２人の指の合計が奇数なら「キー」、偶数なら「グー」と言った人がカードをもらいます。もし、２人ともが「キー」または、「グー」と言った場合、引き分けとなり、カードのやり取りは行わず、別れていきます。カードの色・番号には何も意味がありません。（ゲームのはじめにカードを５枚ほど渡されています。）

③ カードをもらうことより渡すことが名誉であり、渡した人はもらってくれた人に軽く礼をします。

カードがなくなれば、女王の近くに行って、カードがなくなったことを態度で示し、カードをもらいます。このとき、カードを受け取った人は女王から首にテープをかけてもらいます、テープをかけてもらったからといって、別に何ということはありません。

資料６

（　　）国についての報告書

年　　組

第１次調査隊の報告

第２次調査隊が調べること

第２次調査隊の報告

最終調査隊が調べること

最終報告（　　）国はどんな国だったか

バファバファを終えての感想

⑤ 学年全員で取り組む　「ワールド　カルタ」

それぞれの地域の文化的特徴（衣食住、宗教、風俗、ことわざ、など）を紹介したカルタを作る。
（地理的なものについてはなるべく避ける。）

＜取り組みの方法＞

① １学年全員を６つの地域（アジア、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア、北アメリカ、南アメリカ）に分ける。

② 図書室の本、インターネット、社会科の教科書・資料集などで、カルタになりそうな話題を調べ、まとめる。

③ それぞれのグループでカルタにするものを話し合い、決定する。

④ 厚紙１枚分を１枚のカルタ（取り札）とし、１組を４４枚（五十音）とする。読み札は厚紙の４分の１サイズ。　（グループ別に作業する。）

⑤ カルタのほかに、それぞれの地域を示した地図、カルタの解説一覧を作成する。

（資料７　参照）

＜カルタの例＞

◎アジアカルタ

・「ナマステ」はインドの言葉で「こんにちは」

・ラマダーンはイスラム教の断食の期間

◎北アメリカカルタ

・カナダの国旗は真っ赤なメイプルリーフ

◎アフリカカルタ

・ザンビアの主食はとうもろこしをねったもの

◎オセアニアカルタ

・シドニーで金メダルとったアボリジニ

アフリカ　話題一覧

	話題	カルタ
あ	アサンティ・ドールは木製でガーナの伝統的な人形です。主に妊婦姿をして、豊作や安産のお守りにします。	アサンティ・ドールはガーナのおもちゃ
い	ケニアにはシロアリがたくさんいて、木製の家を建てても	

日　本　語

おしながき

1. 焼き飯
2. 鶏ごはん
3. ココナッツ炊き御飯
4. 白ごはん
5. 焼きそば
6. 田舎風焼きそば
7. 汁そば
8. マレー風うどん
9. 焼きうどん(平めん)
10. 汁うどん(きしめん風)
11. 野菜スープ
12. 野菜炒め
13. エビと野菜の炒め物
14. イカとキノコの炒め物
15. 貝の炒め物
16. フライド・バナナ
17. 焼き魚
18. 焼きイカ
19. コーンスープ
20. オニオングラタンスープ
21. かき氷
22. すいか
23. バナナ
24. パイナップル
25. ぶどう
26. ミルク
27. レモン水
28. 水
29. ホットコーヒー(砂糖・ミルク入り)
30. ホットコーヒー(砂糖入り)
31. 紅茶(砂糖・ミルク入り)
32. 紅茶(砂糖入り)

D A F T A R

1. *Nasi Goreng*
2. *Nasi Ayam*
3. *Nasi Lemak*
4. *Nasi Putih*
5. *Mi Goreng*
6. *Mi Goreng Kampung*
7. *Mi Sup*
8. *Laksa*
9. *Kuei Tiau Goreng*
10. *Kuie Tiau Sup*
11. *Sup Sayur*
12. *Sayur Goreng*
13. *Sayur Goreng dengan Udang*
14. *Sotong Goreng dengan Cendawah*
15. *Kerang Goreng*
16. *Pisang Goreng*
17. *Ikan Bakar*
18. *Sotong Bakar*
19. *Sup Jagung*
20. *Sup Bawan Besar dengan Keju*
21. *ABC*
22. *Tembikai*
23. *Pisang*
24. *Nanas*
25. *Anggur*
26. *Susu*
27. *Air Limau*
28. *Air Kosong*
29. *Kopi Panas*
30. *Kopi O*
31. *Teh Panas*
32. *Teh O*

アラビア語

[illegible]

1. [illegible]
2. [illegible]
3. [illegible]
4. [illegible]
5. [illegible]
6. [illegible]
7. [illegible]
8. [illegible]
9. [illegible]
10. [illegible]
11. [illegible]
12. [illegible]
13. [illegible]
14. [illegible]
15. [illegible]
16. [illegible]
17. [illegible]
18. [illegible]
19. [illegible]
20. [illegible]
21. ا ب ج
22. [illegible]
23. [illegible]
24. [illegible]
25. [illegible]
26. [illegible]
27. [illegible]
28. [illegible]
29. [illegible]
30. [illegible]
31. [illegible]
32. [illegible]

スペイン語

1 Arroz saltado
2 Arroz con pollo
3 Arroz al coco
4 Arroz blanco
5 Fideos fritos
6 Fideos fritos casero
7 Sopa con fideos
8 Sopa de coco acida con fideos
9 Fideos blancos fritos
10 Sopa con fideos blancos
11 Sopa de verduras
12 Verduras saltadas
13 Camarones y verduras saltados
14 Calamar y Champiñon saltados
15 Ostras saltados
16 Banamas fritas
17 Pescado asado
18 Calamar asado
19 Sopa crema de chicolo
20 Sopa de cebolla gratinada
21 Hielo con almibar
22 Sandia
23 Banana
24 Anana
25 Uva
26 Leche
27 Limonada
28 Agua
29 Café caliente con leche y azucar
30 Café caliente con azucar
31 Té caliente con leche y azucar
32 Té caliente con azucar

ロシア語

1 ЖАРЕНЫЙ РИС
2 РИС С КУРИЦЕЙ
3 РИС С КОКОСОМ
4 РИС
5 ЖАРЕНАЯ ГРЕЧНЕВАЯ ЛАПША
6 ЖАРЕНАЯ ГРЕЧНЕВАЯ ЛАПША ПО-ДЕРЕВЕНСКИ
7 СУП С ЛАПШОЙ
8 СУП С ЛАПШОЙ С КОКОСОМ И УКСУСОМ
9 ЖАРЕНАЯ ЯПОНСКАЯ ЛАПША
[illegible]

10 ЯПОНСКАЯ ЛАПША (ВЕРМИШЕЛЬ)
11 ОВОЩНОЙ СУП
12 ЖАРЕНЫЕ ОВОЩИ
13 ЖАРЕНЫЕ ОВОЩИ С КРЕВЕТКАМИ
14 ЖАРЕНЫЕ КАЛЬМАРЫ С ГРИБАМИ
15 ЖАРЕНЫЕ МОЛЛЮСКИ
16 ЖАРЕНЫЕ БАНАНЫ
17 ЖАРЕНАЯ РЫБА
18 ЖАРЕНЫЕ КАЛЬМАРЫ
19 СУП ИЗ КУКУРУЗЫ
20 ЛУКОВЫЙ СУП
21 ИЗМЕЛЬЧЕННЫЙ ЛЁД С СИРОПОМ
22 АРБУЗ
23 БАНАНЫ
24 АНАНАС
25 ВИНОГРАД
26 МОЛОКО
27 ЛИМОННАЯ ВОДА
28 ВОДА
29 ГОРЯЧИЙ КОФЕ (С МОЛОКОМ И САХАРОМ)
30 ГОРЯЧИЙ КОФЕ (С САХАРОМ)
31 ГОРЯЧИЙ ЧАЙ (С МОЛОКОМ И САХАРОМ)
32 ГОРЯЧИЙ ЧАЙ (С САХАРОМ)

ネパール語

1 भुटेको भात
2 कुरखुराको मासु र भात
3 नरीवलको स्वाद भएको भात
4 गात
5 तारेको चाउचाउँ
6 आफ्नो देशको जस्तो तारेको चाउचाउँ
7 रस भएको चाउँ चाउँ
8 अफ्नो रस भएको चाउँ चाउँ
9 तारेको सादा चाउँ चाउँ
10 सादा रस भएको चाउँ चाउँ
11 सागसब्जीको रस
12 सागसब्जी तारेको
13 तारेको सागसब्जी संग मिडेको माछा
14 तारेको च्याउँ
15 तारेको सङ्ख
16 तारेको केरा
17 तारेको माछा
18 —×—
19 मकैको रस
20 च्याजको रस
21 चिसो सरबत
22 खरभुजा
23 केरा
24 भुइकटर
25 अङ्गुर
26 दुध
27 कागती सरबत
28 पानी
29 दुध र चिनी भएको कापी
30 चिनी भएको तातो कापी
31 दुध र चिनी भएको चिया
32 चिनी भएको तातो चिया

インドネシア語

D A F T A R

1. *Nasi Goreng*
2. *Nasi Ayam*
3. *Nasi Lemak*
4. *Nasi Putih*
5. *Mie Goreng*
6. *Mie Goreng Kampung*
7. *Mie Sup*
8. *Laksa*
9. *Kuei Tiau Goreng*
10. *Kuie Tiau Sup*
11. *Sup Sayur*
12. *Sayur Goreng*
13. *Sayur Goreng dengan Udang*
14. *Cumi—cumi Goreng Dengan Jamur*
15. *Kerang Goreng*
16. *Pisang Goreng*
17. *Ikan Panggang*
18. *Cumi—cumi Panggang*
19. *Sup Jagung*
20. *Sup Bawan dengan Kedju*
21. *ABC*
22. *Semangkai*
23. *Pisang*
24. *Nanas*
25. *Anggur*
26. *Susu*
27. *Air Limau*
28. *Air Nol*
29. *Kopi Panas*
30. *Kopi O*
31. *Teh Panas*